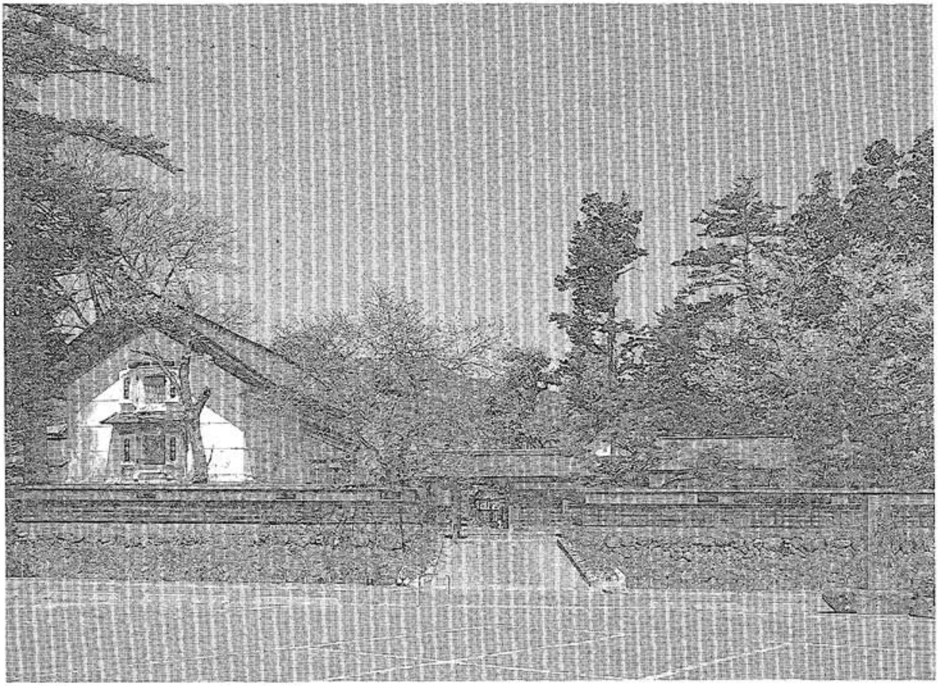
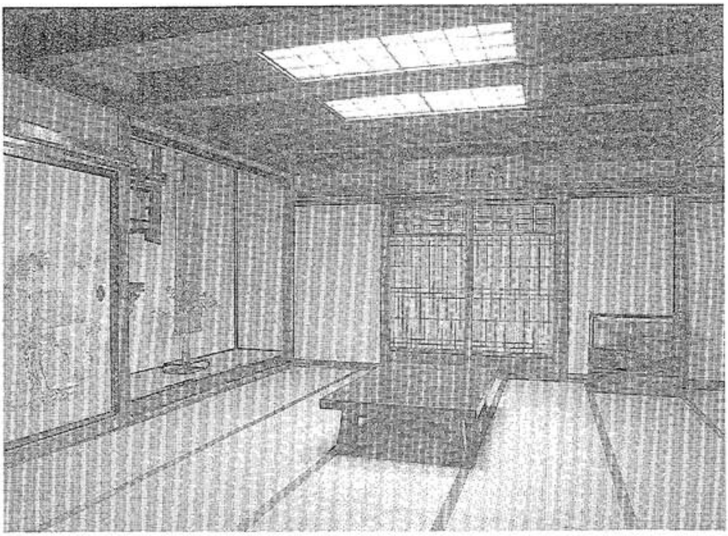
最上紅花史料

II

山形大学附属図書館
（中央図書館）
1195003335



紅花資料館（旧堀米四郎兵衛家）

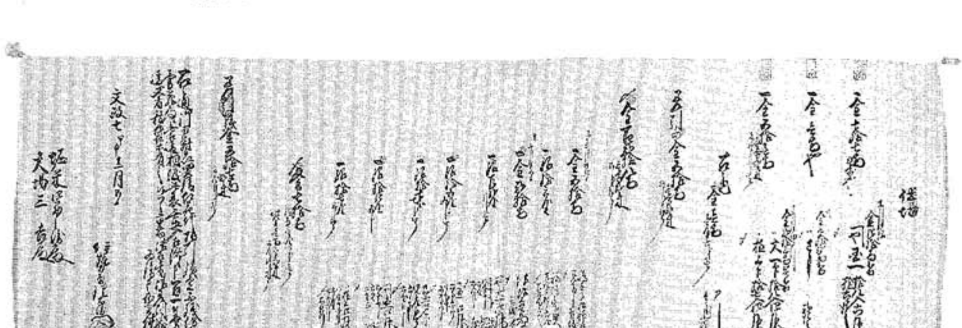


蔵座敷（同上の内部）

紅花送手板（同左の内容・堀米家文書　16）

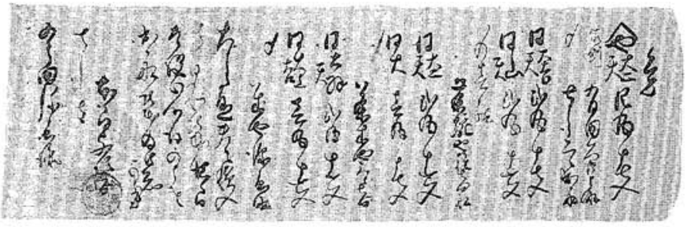
書簡（堀米家文書　93）

萬指引帳表紙
（堀米家文書　16）

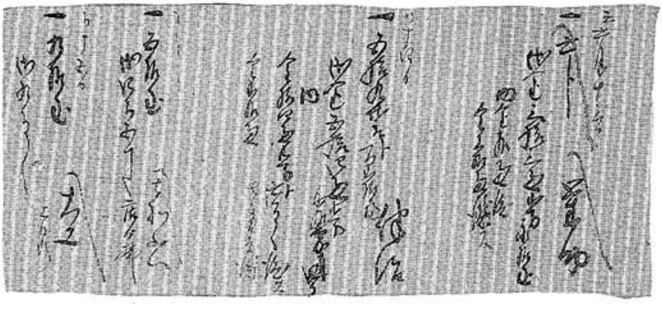


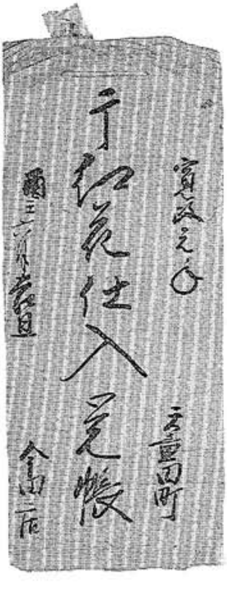
紅花仕切（堀米家文書　47）

令印紅花差引覚（今田家文書　31）

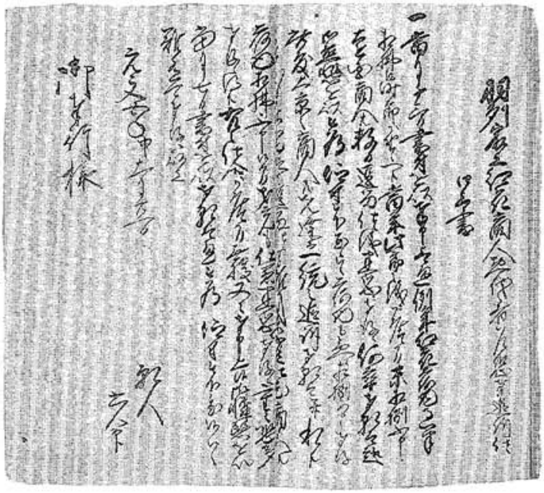


覚（紅花荷酒田船積通知）（今田家文書　88）

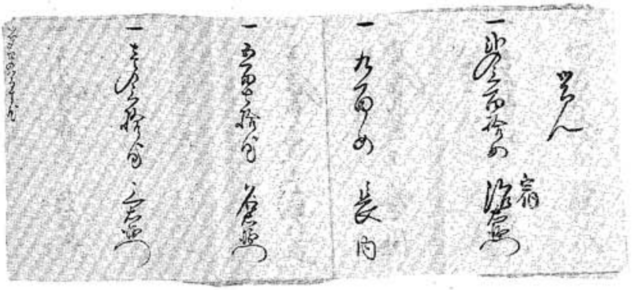




干紅花仕入覚帳表紙(左)と
その内容(上)（今田家文書　35）



紅花願扣書表紙(左)とその内容(上)
(槇家文書　2)



荘内紅花買帳表紙(右)
とその内容(上)
(宇野家文書　11)

序

河北町長　矢作武雄

河北町では、昭和三十七年、他に先んじて『河北町の歴史・上巻』を発刊したのち、町誌編纂委員会のお力により、あいついで中・下巻を刊行し、年表の発行をもって、町史四部作が見事に完結しました。この著作は各界より高い評価を得て再版されていることは、まことに喜ばしく町民あげて大きな拍手を送るものであります。平成にはいるや、河北町誌編纂史料として『大町念仏講帳』『最上紅花史料I』を発刊し、このたび引き続いて『最上紅花史料II』が発行されましたことは、まことに喜びにたえません。

河北地区は最上紅花の産地として全国的に有名であり、干花は舟運によって京坂地方に直送され、上方との交易はこの地方の文化の向上発展に貢献してきたのでした。河北町が伝統と文化を重視した特色ある町おこしの先導的自治体に指定されたのは、先人のたゆまざる努力の賜であったのです。本町は今、「べに花の里」として紅花を中心にして全国各地域間の交流を進めております。徳島県の藍住町や埼玉県の桶川市、宮城県の村田町との交流などがそのあらわれです。

このねらいを達成するためには、何といっても紅花についての先覚的研究が必要です。ここに、町内に所蔵されている紅花関係史料をまとめ、『最上紅花史料II』として発刊できたことは、町の発展のためにきわめて貴重な業績であります。この史料集が町内のみならず、全国の紅花研究に活用され、さらにこれを通して地域間の交流がはかられるよう祈ってやみません。

最後に、日夜をわかたず古文書の解読にあたられた槙委員長はじめ委員各位に対し、心から感謝申し上げるとともに、秘蔵の文書を文化向上のために提供してくださった方々に厚く御礼申し上げます。私たちはこの史料集を町の誇りとして、さらに町の発展に力を尽くすことを約束して、発刊のごあいさつといたします。

発刊にあたって

河北町誌編纂委員長　槙　清哉

本県の内陸地方は近世初期から特産の紅花を生産してきました。この地方から出る紅花は「最上紅花」と呼ばれ、その生産量は一口に「最上千駄」（一駄は干紅花三二貫目）といわれ、そのうち約三〇パーセント位は河北地区から生産されました。河北地区ではその干花を上方に送り、その売上代金で古着・茶・その他生活必需品を購入し、高い文化水準を維持してきました。

河北町は昭和五十五年「紅花」を町の花と定め、平成二年十月自治省からリーデング・プロジェクト地区の一つに指定され、伝統文化を重んじ、特色ある町づくりの先導的自治体として、「べに花の里づくり」をテーマにして町づくり事業に取り組んで来ました。河北町にとっては「紅花の研究」は重要な課題であり、平成五年二月に、今田信一前町誌編纂委員長から、河北町に寄贈された「藻鯰亭（前委員長の書斎名）文庫」の中にある紅花関係の全史料を印刷して、「最上紅花史料Ⅰ」として発刊いたしました。

今回、第一集に引続いて町内に所蔵されているそれ以外の紅花関係史料を取りまとめて、「最上紅花史料Ⅱ」として発刊することにいたしました。この度掲載したのは町内の堀米四郎兵衛家・今田修家・槙真司家・宇野常義家・逸見彦次家・逸見良一家のものです。次に所蔵者について簡単に説明してみます。

堀米四郎兵衛家は河北町沢畑の豪農で九代当主康太郎は大正後期に東京に移り、その屋敷・邸宅・文書・家財等一切が河北町に寄贈され、その邸宅は昭和五十九年から「紅花資料館」として一般に公開されています。堀米家では近世末期には松橋村（幕領）の名主を勤めながら紅花を出荷しており、本誌に掲載した関係資料は一一八点に及んでいます。そのうち「萬指引帳」には文政五年（一八二二）から嘉永元年（一八四八）までのうち、一〇年間の「紅花送手板」六八件がのっており、最もまとまった史料です。

今田修家は河北町田井にあり、代々「弥兵衛」を名のり、近世を通じ田井村の名主を勤めてきた旧家です。所蔵文書は五、三〇〇点以上にのぼり、その中には明和・安永・天明期（一七六四〜一七八八）に、京都の商人と紅花・米・大小豆等の取引きをした商業関係文書が残っており、本誌にはそのうち一二五点を掲載しました。田井村は最上川沿いにあることもあり、資金を紅花の取引きに投資したものと思われます。

槙真司家は河北町谷地新町にあり、代々「久右衛門」を名のり、旧新町（しんまち）村の文書を所蔵しています。谷地の紅花商人槙藤左衛門家（和泉屋を名のる）と縁戚関係にあり、「和泉屋」と書いた帳簿もあります。掲載した点数は少ないが、そのうち貴重なものは「元文五年　紅花願控書」です。その内容は「山形県史資料篇一八」にも掲載されておりますが、谷地・寒河江の紅花商人が京都の稲荷講（紅花問屋・紅染屋十四軒の同業組合）の不正を京都二条役所に訴える迄の経緯や、その後の経過を詳細に記録したものです。最上紅花の生産・販売関係を考えるうえでの貴重な資料です。

宇野常義家は河北町沢畑にあり、代々「与蔵」を名のり、谷地の紅花商人槙藤左衛門の手代を勤め、近世末期には藤左衛門に代り、実質的にその商取引に当ってきた旧家です。そのような関係から藤左衛門との差引勘定書などがあります。この地方の紅花商人は、紅花以外に米・青芋・大豆・小豆等も取扱ったので、その経営形態を見るために、

紅花に関する内容だけでなく、冊子全体を掲載したものもあります。中にはふすまの下張りをはがしたものもあるので、前後の欠けたものや、欠字の多い史料も含まれています。

逸見彦次家は河北町白山堂にあり、逸見庄左衛門家の古い分家で代々「庄蔵」を名のり、組頭を勤めるかたわら油のほか生活必需品の商取引も行ってきました。先代は俳人逸見竹石（本名武）で、河北町誌編纂委員を勤め、その間古い史料の収集に当ってきました。本誌に掲載したのはそのうち紅花に関係するものだけであり、そのうち一・二は部厚な横帳から、必要な部分を抜き書きしたもの、三の和田兵左衛門家の書簡は額の裏張りをはがしたもので、一部不明な部分があります。

逸見良一家は河北町中島にあり、代々「伊左衛門」を名のり、西里村中島組名主を勤めてきた家柄で、京都へ紅花を出荷してきた旧家です。掲載した史料はふすまの裏張りをはがしたもので、現物は河北町立中央図書館に保管されています。

河北町誌編纂委員会としては紅花関係史料を収集し、最上紅花の研究をとおして他地域との交流をはかりたいと考え、取りあえず地元に保存されている史料をまとめたいと思い、この度第一集に続いて第二集を発刊いたしました。このあと引き続いて第三集・第四集を発行する計画で、これまでの史料集をご利用いただくとともに、今後の史料収集にご協力くださるようお願い申しあげます。

凡　例

一、本書には河北町内の堀米四郎兵衛・今田修・槙真司・宇野常義・逸見彦次・逸見良一の各家の紅花関係史料三三九点を収録した。

一、これらの史料は現在、堀米・逸見(良)両家のものは河北町立中央図書館が、その外のものは各家が所蔵しており、それぞれ『山形県史料所在目録』第一～六集の形で、目録が発刊されている。

したがって、史料の配列はこれらの目録に拠り、家毎に、編年体を原則とした。

なお、目録と本書の標題を可能な限り一致させようとしたが、必ずしもそうならないものもあった。

一、史料の収録にあたっては、できるだけ原文の形にそうようにしてあるが、読者の便宜を考え次の諸点に留意した。

(一) 漢字の字体は当用漢字を原則としたが、メ(貫)など異体字の中にはそのまま用いたものもある。

(二) 変体かなはそのまま用いた。

(三) 平出・闕字並びに本文途中の割印・認印などは省略した。

(四) 破損・摩耗・虫食いなどにより判読不能な箇所は、□□・□・□などで示し、(虫)などと注記した。

(五) 表紙・封書・貼紙・朱書などは「　」によって示し、それぞれ（　）に注記した。

(六) 文意の通じない箇所や宛字には（ママ）、疑問の箇所には（カ）と注記した。

(七) 史料の形態は特に示さなかったが、冊子については（横帳）などと標題の下に注記した。

目次

堀米四郎兵衛家文書

一　金銀差引目録（文化元年）　三
二　紅花仕切（文化元年）　四
三　塗物荷物請取覚（文化十年）　四
四　萬手控帳（横帳）（文化十二年）　五
五　（紅花代金貸付に付）一札之事（文化十二年）　一二
六　（紅花代金滞出入に付）願上書（文政二年）　一二
七―一　書簡（渡金の催促）（文政五年）　一四
七―二　書簡（追伸）（文政五年）　一五
七―三　覚（取扱金預りに付）（文政五年）　一五
八　書簡（入舟案内他）（文政五年）　一六
九　書簡（渡金滞に付）（文政五年）　一七
一〇　書簡（紅花仕切残金）（文政五年）　一八
一一　書簡（荷物積送他）（文政五年）　一九
一二　書簡（紅花景況・相場他）（文政五年）　二〇
一三―一　書簡（為替手形差下し）（文政五年）　二二
一三―二　書簡（仕切書）（文政五年）　二三
一四　繰綿運賃（文政六年）　二三
一五―一　書簡（紅花景況・相場）（文政六年）　二五
一五―二　書簡（追伸・紅花出荷他）（文政六年）　二六
一五―三　相場書（文政六年）　二七
一五―四　相場書（文政六年）　二八
一六　万指引帳（横帳）（文政五年）　二九
一七　紅花仕切（文政五年）　九四
一八　書簡（為替金に付）（文政五年）　九五
一九　覚（請取証）　九七
二〇　覚（手拭積下し）（文政五年）　九七
二一　覚（天草積下し）（文政五年）　九八
二二　紅花仕切（文政五年）　九八

二三―一　紅花仕切（文政五年）　九九
二三―二　紅花仕切写（文政五年）　一〇〇
二四　紅花仕切（文政五年）　一〇一
二五　紅花仕切（文政五年）　一〇一
二六　操綿仕切（文政五年）　一〇二
二七　金銀差引覚(横帳)（文政五年）　一〇三
二八　覚（代金受取）（文政五年）　一〇五
二九　書簡（御注文古手之儀に付）（文政五年）　一〇五
三〇　覚（繰綿代金請取）（文政五年）　一〇六
三一　金銀差引覚（文政五年）　一〇七
三二　覚（繰綿仕切）（文政五年）　一〇八
三三　覚（古手注文代金に付）（文政五年）　一〇八
三四　上方仕切差引帳(横帳)（文政五年）　一〇九
三五―一　木綿古手壱丸掛物割合（文政六年）　一一二
三五―二　⌈や⌉積付書（文政六年）　一一三
三六　⌈や⌉積付書（文政六年）　一一四
三七―一　⌈や⌉入日記（文政六年）　一一四
三七―二　絞り値段（文政六年）　一一五
三七―三　⌈や⌉百七番（文政六年）　一一六
三八　万出入覚帳抄（文政六年）　一一六
三九　⌈や⌉差引目録（文政七年）　一一七
四〇　紅花仕切（文政七年）　一一九
四一　紅花仕切（文政七年）　一二〇
四二　紅花仕切（文政七年）　一二一
四三　紅花仕切（文政七年）　一二二
四四　紅花仕切（文政七年）　一二三
四五　紅花仕切（文政七年）　一二四
四六　紅花仕切（文政七年）　一二五
四七　紅花仕切（文政七年）　一二六
四八　紅花仕切（文政七年）　一二八
四九　仕切扣(横帳)（文政八年）　一二九
五〇　紅花仕切扣(横帳)（文政八年）　一三六
五一―一　書簡(金子並びに仕切書受取に付)（文政八年）　一三九
五一―二　覚（紅花仕切）（文政七年）　一四〇
五一―三　差引書（紅花仕切）（文政七年）　一四一

五二　覚（紅花仕切）（文政八年）　一四二
五三　差出申引質金日延願證文之事（文政八年）　一四二
五四　指入申一札之事（代金用捨に付）　一四三
五五　大幅帳抄（横帳）（文政十年）　一四四
五六　覚（紅花仕切）　一五九
五七　万書出覚帳（横帳）（文政十一年）　一六〇
五八　書簡（紅花代金為替手形下しに付）（文政十四年）　二〇三
五九　書簡（京都より手形入に付）（文政十四年）　二〇四
六〇　書簡（注文品船積他に付）（文政十四年）　二〇五
六一―一　書簡（紅花代金勘定に付）（文政八年）　二〇七
六一―二　御心得書　二〇九
六一―三　書簡（紅花仕切残金に付）　二〇九
六二　書簡（酒田湊入津通知並びに相場書）　二一〇
六三―一　書簡（紅花代残金渡しに付）　二一一
六三―二　書簡（紅花代残金渡しに付）　二一二
六三―三　書簡（追伸）　二一三
六四　書簡（紅花値段下落に付）　二一三
六五　紅花引当金借用証文（文政十三年）　二一四
六六―一　書簡（紅花作付状況に付）　二一五
六六―二　書簡（為替金不渡り他に付）　二一六
六六―三　相庭書　二一七
六七　書簡（紅花代金にて古手買入に付）　二一八
六八　書簡（紅花仕切金利足に付）　二一九
六九　書簡（紅花気配並びに仕切書に付）　二一九
七〇　覚（請取書）　二二〇
七一　覚（紅花荷物蔵入書）　二二一
七二　覚（紅花荷物蔵入書）　二二一
七三　書簡（代金支払延引取調べに付）（文政九年）　二二二
七四―一　覚（紅花代金勘定に付）（文政八年）　二二三
七四―二　書簡（紅花代金勘定に付）　二二五
七五　書簡（沢雨紅花又為替取組みに付）　二二六
七六　書簡（紅花絵符・送手板に付）　二二七
七七　書簡（上京御尋に付）　二二八
七八　書簡（為替金持参に付）　二二九
七九　書簡（紅花仕切差引書に付）　二三〇

八〇　諸品控帳（横帳）　二三一
八一　書簡（紅花荷物大石田蔵入に付）　二三七
八二　紅花送り状　二三八
八三　覚（蠟請取書）　二三八
八四　青苧四駄請取手形　二三九
八五　覚（着物地等仕切）　二三九
八六―一　覚（諸品勘定）　二四一
八六―二　覚（売上代金受取）　二四一
八六―三　覚（仕立賃金請取）　二四二
八六―四　覚（差引勘定）　二四二
八六―五　覚（代金受取、入帳依頼）　二四三
八六―六　覚（賄代調書）　二四三
八七　書簡（差引勘定に付）　二四四
八八　紅花仕切　二四四
八九―一　覚（諸品勘定）　二四五
八九―二　覚（戌亥年分勘定相済）　二四六
九〇　書簡（注文品代金・紅花値段に付）　二四六
九一　書簡（年賀・紅花相場に付）　二四七
九二　紅花仕切書　二四八
九三　書簡（紅花相場に付）　二四九

今田修家文書

一　紅花仕切（宝暦六年）　二五三
二―一　紅花惣仕切目録（明和二年）　二五三
二―二　紅花仕切（明和二年）　二五六
三　（京都紅花問屋に付）一札（明和二年）　二五七
四　覚（人や印紅花運賃指引勘定）（明和二年）　二六〇
五　紅花惣仕切目録（明和四年）　二六一
六　紅花仕切（明和四年）　二六一
七　紅花惣仕切目録（明和四年）　二六三
八　紅花惣仕切目録（明和四年）　二六三
九　（紅花売代金に付）返答書（明和四年）　二六四
一〇―一　（惣七紅花売付け一件に付）願上書（明和五年）　二六七

一〇－二　（惣七紅花売付け一件に付）訴訟書（明和五年）　二六七
一〇－三　（惣七紅花売付け一件に付き）願上書（明和五年）　二六八
一一　覚（紅花売口銭等勘定申立）（明和五年）　二七〇
一二　紅花仕切（明和五年）　二七一
一三　（紅花代金横取に付）願上書（明和五年）　二七二
一四　（紅花代金横取ニ付）一札之事（明和五年）　二七四
一五　紅花代金指引帳（横帳）（明和五年）　二七四
一六　（惣七紅花代金横取に付）内済証文（明和五年）　二七八
一七　（惣七紅花代金横取に付）内済証文（明和五年）　二七八
一八　書簡（受取証文返却に付）（明和五年）　二八〇
一九　書簡（受取証文返却に付）（明和五年）　二八一
二〇　（惣七紅花代金横取に付）済口証文（明和五年）　二八一
二一　紅花代金差引覚（明和六年）　二八三
二二　（紅花仕入代金年賦）一札（明和七年）　二八四
二三　紅花代金御取替目録覚（明和八年）　二八五
二四　紅花仕切（明和八年）　二八六
二五　覚（紅花仕切）（明和九年）　二八八
二六　紅花仕切（安永二年）　二八八
二七　覚（紅花仕切）（安永五年）　二八九
二八　覚（紅花代金請取）（安永八年）　二九〇
二九　令諸色御買物目録（横帳）（安永九年）　二九〇
三〇　令諸色売目録（天明元年）　二九三
三一　令印紅花差引覚（天明四年）　二九七
三二　巳紅花仕入覚帳（横帳）（天明五年）　三〇一
三三　大令諸色売目録（横帳）（天明八年）　三〇八
三四　紅花代金差引目録（寛政元年）　三一五
三五　干紅花仕入覚帳（横帳）（寛政元年）　三一六
三六　（紅花代金差引）目録覚（寛政元年）　三二三
三七　紅花仕切（寛政元年）　三二四
三八　紅花代金差引之覚（寛政元年）　三二六

三九　御売仕切事（寛政元年）　三二八
四〇　紅花仕切（寛政二年）　三二九
四一　生花仕入帳（横帳）（文化十二年）　三三〇
四二　（紅花荷通判に付）願書（慶応元年）　三五八
四三　当寅生花帳（横帳）（慶応二年）　三五九
四四　覚（紅花仕入金請取）　三六二
四五　覚（𠆢や印紅花大石田蔵入）　三六三
四六　覚（紅花代金請取）　三六三
四七　覚（紅花代金請取）　三六三
四八　覚（紅花代金請取）　三六四
四九　覚（紅花晒蠟取立銭請取）　三六四
五〇　覚（𠆢や印紅花大石田蔵入）　三六五
五一　金銭指引勘定　三六五
五二　覚（紅花仕入代金請取）　三六六
五三　覚（紅花送手板）　三六六
五四　覚（𠆢や印紅花大石田蔵入）　三六八
五五　覚（紅花代金差引勘定）　三六八
五六　覚（𠆢や印紅花大石田蔵入）　三七〇
五七　覚（干花代金請取）　三七〇
五八　覚（紅花代金受取）　三七〇
五九　覚（紅花手打金受取）　三七一
六〇　覚（干花代金請取）　三七一
六一　覚（𠆢や印紅花大石田蔵入）　三七一
六二　覚（紅花袋入請取）　三七二
六三　覚（紅花荷継立）　三七二
六四　覚（紅花荷物大石田蔵入）　三七三
六五　覚（紅花代金差引）　三七三
六六　𠆢や印紅花代金差引覚　三七四
六七　生花代金指引覚　三七六
六八　書簡（紅花作況等に付）　三七七
六九　書簡（紅花買入代金前払に付）　三七九
七〇　書簡（紅花荷物と手板表の相違に付）　三八〇
七一　覚（𠆢や印御取替の目録）　三八一
七二　覚（𠆢や印紅花大石田蔵入）　三八三
七三　覚（中野惣七様へ御取替目録）　三八三
七四　覚（𠆢や印紅花大石田蔵入）　三八六

七五　覚（大石田より為登荷）　三八六
七六　覚（令印紅花大石田蔵入）　三八七
七七　書簡（惣七紅花代金滞の書付相渡に付）　三八七
七八　紅花代金差引勘定覚　三八八
七九―一　書簡（年賀）　三八九
七九―二　書簡（紅花三駄通判願）　三九〇
八〇　書簡（年賀、紅花景況）　三九〇
八一　書簡（紅花勘定仕切違い）　三九二
八二―一　書簡（紅花相場等）　三九三
八二―二　書簡（紅花買入に付）　三九三
八二―三　書簡（紅花売買に付）　三九四
八三―一　書簡（紅花不景気に付）　三九四
八三―二　書簡（紅花代金送金に付）　三九五
八三―三　書簡（紅花不景気に付）　三九六
八四―一　覚（紅花仕入銭請取）　三九六
八四―二　覚（紅花仕入銭請取）　三九七
八五　書簡（惣七荷物盗まれに付）　三九七
八六　書簡（紅染屋との訴訟一件裁許に付）　三九八
八七　書簡（紅花荷物大石田蔵入）　四〇〇
八八　覚（令印紅花酒田船積通知）　四〇〇
八九　書簡（紅花代金出入に付）　四〇一
九〇―一　書簡（紅花代金出入に付）　四〇二
九〇―二　書簡（紅花代金出入に付）　四〇三
九一　覚（令印紅花大石田蔵入）　四〇五
九二　覚（干紅花代金請取）　四〇五
九三　書簡（令印紅花酒田船積通知）　四〇五
九四　覚（紅花代金請取）　四〇六
九五―一　書簡（紅花売買に付）　四〇七
九五―二　書簡（紅花代金不払いに付）　四〇七
九六　覚（紅花代金請取）　四〇八
九七―一　書簡（紅花売買に付）　四〇八
九七―二　書簡（紅花代金差下しに付）　四〇九
九七―三　書簡（紅花不景気に付）　四〇九
九七―四　書簡（紅花売払い代金に付）　四一〇
九八　書簡（敦賀着紅花の手板に付）　四一一
九九　覚（令印紅花酒田船積通知）　四一一

一〇〇　書簡（紅花敦賀到着通知外）　四一二
一〇一　書簡（大坂伊勢屋出し荷不着通知外）　四一三
一〇二―一　書簡（荷物間違い積下しに付）　四一四
一〇二―二　書簡（紅花売捌きに付）　四一四
一〇二―三　書簡（紅花代金送り状）　四一四
一〇三　覚（紅花代金差引勘定）　四一五
一〇四　覚（紅花代金請取）　四一七
一〇五　書簡（紅花上着蔵入）　四一七
一〇六　差引書覚（紅花代金）　四一九
一〇七　紅花代金覚　四一九
一〇八　残り花覚　四二〇
一〇九　相場書　四二一

槙真司家文書

一　紅花旱損歩付帳（横帳）（享保十八年）　四二七
二　紅花願控書（縦帳）（元文五年）　四二八
三　京都紅花問屋相手取、紅花売買吟味方願（宝暦三年）　四五二
四　紅花代金支払之事（宝暦五年）　四五六
五　京都紅花問屋並びに仕方書写（宝暦十一年）　四五七
六　当村産物取調帳（明治五年）　四六〇
七　書簡（紅花売買に付）　四八七
八　覚（当村産物取調）　四八九

宇野常義家文書

一　萬店下覚帳（横帳）（天明四年）　四九九
二　紅花買仕切（文化十一年）　五三六
三　覚（金子受取手形）（文化十四年）　五四〇
四　紅花引当金滞一件（文政二年）　五四〇
五　（品代金滞一件）済口証文（文政二年）　五四二
六　為登紅花代金覚（文政三年）　五四三

七　借用金証文（文政三年）　五四八
八　紅花代金借用書（文政三年）　五四八
九　諸差引書出帳（横帳）（文政五年）　五四九
一〇　引合勘定帳（横帳）（文政五年）　五五六
一一　荘内紅花買帳（横帳）（文政五年）　五六四
一二　諸指引帳（横帳）（文政六年）　五七〇
一三　紅花仕切（嘉永四年）　五七五
一四　紅花仕切（嘉永四年）　五七六
一五　紅花仕切（嘉永四年）　五七七
一六　紅花仕切（嘉永四年）　五七八
一七　為登紅花覚（文政三年）　五七八
一八　紅花目録　五八四
一九　軽荷目録　五八六
二〇　書簡（代金渡方依頼）　五八七
二一　覚（受取書）　五八八
二二　覚（紅花代金受取書）　五八八
二三　覚（紅花代金受取書）　五八八
二四　覚（駄賃受取書）　五八九
二五　覚（送り金預り証）　五八九
二六　覚（駄賃受取書）　五九〇
二七　覚（駄賃渡方願）　五九〇
二八　紅花代金為替証文　五九〇
二九　覚（紅花役永外預証）　五九一
三〇　書簡（為登金外諸連絡）　五九一
三一　覚（紅花指引残金受取書）　五九二
三二　覚（紅花代金受取書）　五九三
三三　覚（受取書）　五九三
三四　書簡（送金等諸連絡）　五九三
三五　覚（干花代金請取書）　五九五
三六　覚（紅花代金請取書）　五九五
三七　書簡（紅花不捌困惑之事）　五九五
三八　紅花売勘定覚（横帳）　五九六
三九　差引覚　六〇〇
四〇　紅花買・荷造控（横帳）　六〇〇
四一　上方仕入紅花　六〇三
四二　覚（紅花代金受取）　六〇五

四三　覚（紅花荷造）　六〇五
四四　書簡（紅花取引之事）　六〇六
四五　書簡（紅花相場）　六〇六
四六　諸相場　六〇七
四七　書簡（紅花相場）　六〇九
四八　書簡（紅花等取引之事）　六一〇
四九　書簡（紅花相場等之事）　六一一
五〇　書簡（紅花取引之事）　六一一
五一　書簡（紅花取引之事）　六一二
五二　書簡（諸相場之事）　六一三
五三　書簡（紅花相場之事）　六一四
五四　書簡（紅花取引之事）　六一五
五五　書簡（紅花成育相庭之事）　六一五
五六　書簡（紅花注文書）　六一六
五七　紅花積附覚　六一七
五八　書簡（紅花為替登候事）　六一八
五九　書簡（紅花等取引之事）　六一八
六〇　書簡（紅花入船之事）　六二〇
六一　書簡（紅花荷到着之事）　六二〇
六二　書簡（紅花売付之事）　六二一
六三　覚（紅花荷敦賀到着之事）　六二二
六四　書簡（紅花相庭之事）　六二二
六五　紅花送状　六二三
六六　書簡（紅花取引之事）　六二四
六七　書簡（紅花取引之事）　六二六
六八　紅花荷物送状　六二六
六九　紅花積附覚　六二七
七〇　紅花積附送状　六二七
七一　紅花送状　六二八
七二　紅花送状　六二八

逸見彦次家文書

一　天保九年　大福帳（横帳）　六三一
二　天保十一年　大福帳（横帳）　六三二

三　書簡（紅花外作物景況、相場）　六三四

逸見良一家文書

一　相場書　六四三
二　書簡（紅花仕切添書）　六四三
三　書簡（仕切添書・相場）　六四四
四　書簡（仕切添書）　六四五
五　書簡（紅花景況）　六四六
六　覚（紅花蔵入）　六四六
七　覚（紅花蔵入）　六四七
八　書簡（紅花敦賀入津）　六四八
九　書簡（紅花到着）　六四八
一〇　書簡（商用に付）　六四九
一一　書簡（紅花景気外）　六四九
一二　書簡（紅花景況、相場）　六五〇
一三　書簡（紅花景況、相場）　六五一